



2021 年度政策検討会を開催しました！

2021年10月21日に2021年度政策検討会をオンラインで開催し、6会員生協、事務局合わせて74名が参加しました。

政策検討会は次年度の計画を考えるうえで、必要と思われるテーマを検討し、毎年、10月から12月に開催してきました。今回は昨年に続き、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、Zoomを活用したオンラインセミナーとして開催いたしました。



㊦首藤会長、㊧上山専務

★当日のプログラム

10：00～開会およびあいさつ

10：05～講演

『SDG s の中でのソーシャルビジネスの取り組み～環境問題や難民問題、福祉など社会的解決に向けて～』

11：35～休憩

11：40～会員生協からの報告

12：20～講師より

12：30 閉会あいさつ

★開会あいさつ

千葉県生協連 首藤会長理事

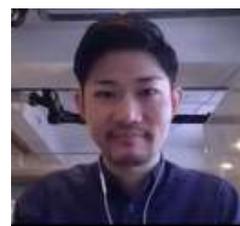
新型コロナウイルスの感染が拡大したことで弱い立場の人々に大きく影響し貧困問題や格差社会など、これまでもあった社会問題がさらに複雑化、深刻化しています。そのような中で、本日の政策検討会は「安心して暮らし続けられる地域社会のために、生協は何ができるのか」を、ソーシャルビジネスの視点から皆さんと一緒に考えたいと思います。

★講演『SDG s の中でのソーシャルビジネスの取り組み

～環境問題や難民問題、福祉など社会的解決に向けて～』

講師 ピープルポート株式会社 代表取締役社長 青山明弘氏

始めに自己紹介があり、幼少期に祖父母の影響から戦争・紛争に課題意識を持ち、大学時代はカンボジアの地雷原をテーマにした映画製作な



講師の青山さん

ど活動、社会課題をビジネスで解決することに可能性を感じ、ボードレス・ジャパンに入社後、ピープルポート株式会社を立ち上げた。ボードレス・ジャパンは、社会問題解決を持続可能なビジネスとすることを目指し、起業時、起業後のバックアップがあり、社会起業家たちのプラットフォームとなっている。全体では年間100社の起業を目標に社会問題解決に取り組んでいる。ボードレス・ジャングループであるピープルポート株式会社は環境問題と難民問題という社会課題についてPC事業を通じてビジネスをおこなっている。日本では難民認定率が低く、認定されても社会的に孤立し、経済的にも貧困となっている。一方、使えなくなったPCはリユースできるものが多く、環境にも負荷を与えている。この2つの環境問題、難民問題の課題解決に向けて、パソコンを通じてエシカルを多くの人に広めていきたい。

★ 会員生協からの報告

- ・生活協同組合パルシステム千葉 職員 丸岡 真吾さん
- ・生活協同組合コープみらい 組合員理事 本間 清子さん
- ・生活クラブ生活協同組合 理事長 福住 洋美さん
- ・なのはな生活協同組合 理事 柴田 梓美さん
- ・青山さんより

各団体の取り組みを聴いて、改めて生協の取り組みを学ぶことができました。生協の強みは生産者と消費者との距離が近いので、本質的な課題に向き合えることだと思います。最近、SDGsの知名度が上がりましたが、言葉だけ有名になって表面的な活動が増えてきている傾向があります。生協さんにはSDGsという大きな枠に無理に合わせず、本質的な声に向き合って素晴らしい活動を続けてもらいたいと思います。

★参加者アンケートより（68人中45人回答、回答率66.1%）

（1） 今回の満足度

大変満足したが86.7%、まあまあ満足したが13.3%で合わせて100%でした

（2） 今回の講演、各生協からの報告を聴いて、SDGs目標達成に向けて大切だと思ったこと（一部抜粋）

- ・ソーシャルビジネスの取り組み、凄いと思いました。ピープルポート（株）の仕組みも素晴らしいし、青山氏の立ち上げたビジネスの内容も凄いと思いました。日本で大変な思いをされている外国人が沢山いることは新聞等で知って心を痛めていましたが、何も出来ないでいたので。またパソコンも数年使って壊れたら新しく買い替えるしか無く、使い捨ての現状に疑問を感じていました。社会全体で、この使い捨ての世の中を変えていかないとならないし、商品に環境スコアをつけてどれだけ環境に負荷を与えて作ったかを見える化していく必要があると感じました。
- ・青山さんの講演については非常に感銘を受けた。難民の定義を知らず口にしていました。自国で生活出来ない事自体日本で生活している私にとって考えられない事です。他国での生活もありき。ですが自国の安定の為に働きかけなければならない事も考えさせられました。又、各生協からの報告は今までやってきた生協の事。これらをより真摯に受け止めて進んでいきたいと思っています。
- ・改めて『相互扶助』という言葉を確認しました。SDGsの根本は“おたがいさま”だと。青山さんのおっしゃるとおり表面だけ、都合のよい部分だけSDGsではなく、今後も本質的な事業・活動を追求していきたいと思っています。

（3） 今後の政策検討会などで取り上げてもらいたいテーマなどがあれば教えてください。

- ・千葉県内で街づくりなどの活動をするNPO団体との交流の機会や学ぶ場があれば参加したいです。
- ・報告者にあわせてスポットされていて細かい配慮だと感じました。参加させていただき、ありがとうございました。
- ・未来を担う若い世代のチャレンジングな取り組みをもっと紹介してほしい。NPOやボランティア、補助金に頼る政策はもう時代遅れだと感じている。
- ・今回のように生協が協働できる取り組みをしている他団体の活動について、もっと学べると良いです。



以上